

第 12 回岐阜市新型コロナウイルス感染症対策本部会議 次第

日時 令和 3 年 8 月 14 日（土）午後 6 時 30 分～

場所 庁舎 6 階 6-1 大会議室

1 発生状況について

資料 1

2 岐阜県の対応について

資料 2

3 その他

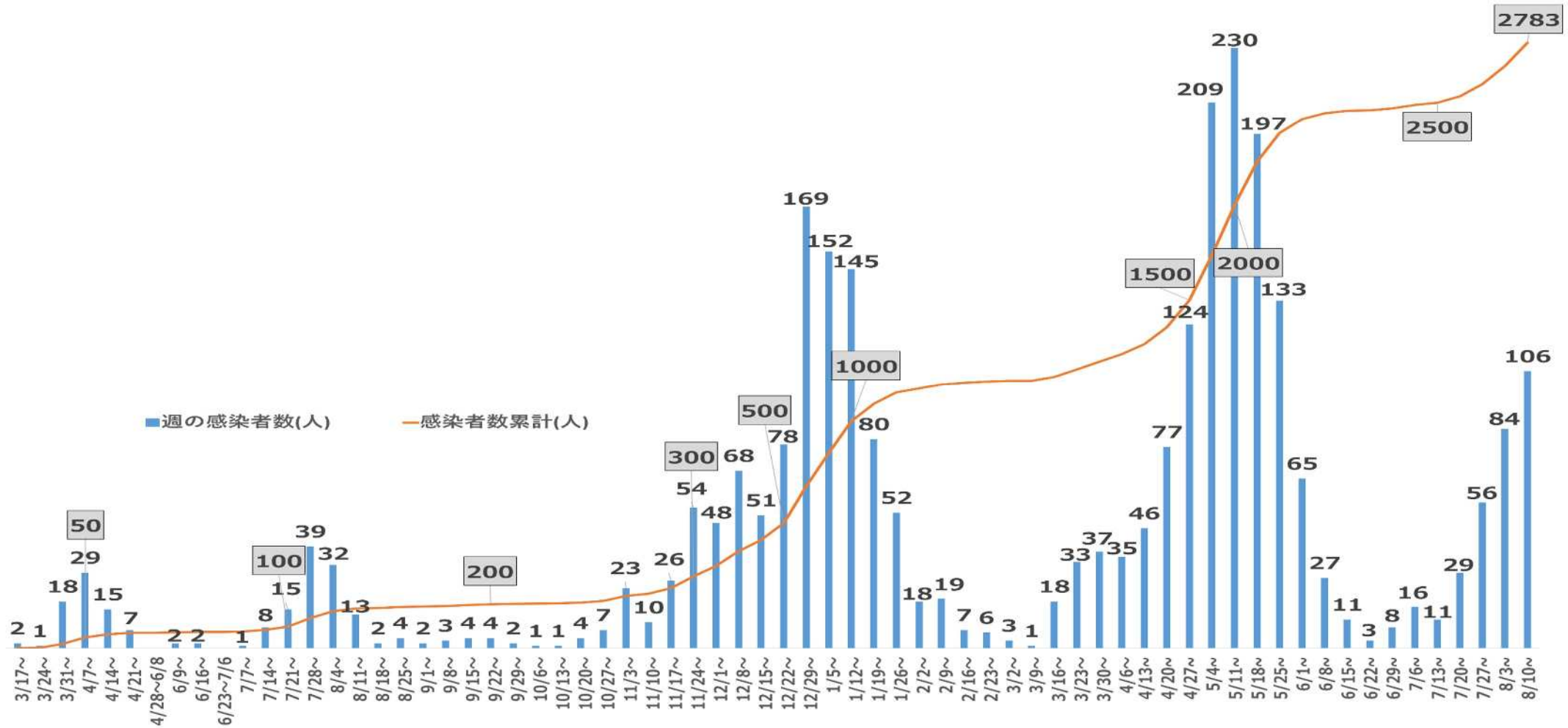
【配布資料】

- | | |
|------|--|
| 資料 1 | 岐阜市における新型コロナウイルス感染症の感染者の発生状況について(R3.8.13 公表時点) |
| 資料 2 | 岐阜県新型コロナウイルス感染症対策協議会(第 28 回)対策本部本部員会議(第 40 回) |
| 参考 1 | 岐阜市新型コロナウイルス感染症対策本部会議席表 |

岐阜市における新型コロナウイルス感染症の感染者の発生状況について（R3. 8. 13 公表時点）

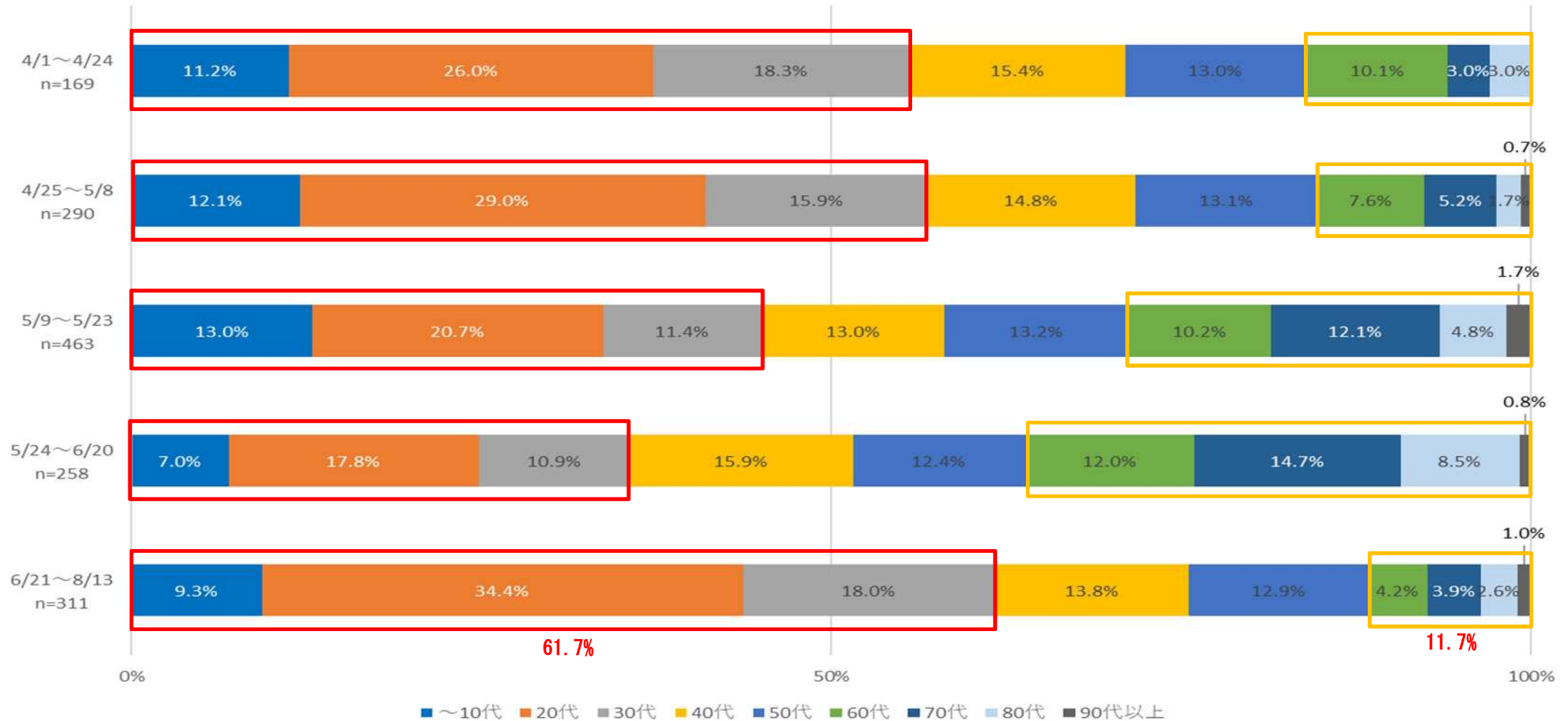
1 感染者数推移（週計）

- ・ 累計2,783人の感染者が発生。7月は100人であったが、8月は2週間弱で既に208人となっている。
- ・ 一週間（8/6～8/12）の人口10万人あたりの感染者数は、37.29人である。（同時期との比較 全国：81.72人 岐阜県：26.18人 愛知県：39.13人）



2 年代別割合の比較（令和 3 年 4 月以降）

- ・ 30代以下が**61.7%**、60代以上が**11.7%**となっており、特に**20代だけで34.4%**となっている。
- ・ 6月後半以降、再び30代以下の若い世代が増加する一方で、60代以上の高齢者の割合が大きく低減した。



※割合は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはならない場合があります

岐阜県新型コロナウイルス感染症
対策協議会（第28回）
対策本部本部員会議（第40回）

日 時：令和3年8月14日（土）
15：00～

場 所：県庁4階 特別会議室

1 全国・県内の感染状況

資料1

2 オール岐阜「^{いのち}生命の防衛」宣言

資料2

**岐阜県新型コロナウイルス感染症
対策協議会（第28回） 対策本部本部員会議（第40回） 出席者名簿**

日時：令和3年8月14日（土）15：00～
場所：岐阜県庁4階 特別会議室

1 市町村

市名	氏名等	備考	町村名	氏名等	備考
岐阜市	柴橋 正直 市長	県庁	岐南町	小島 英雄 町長	T V
大垣市	石田 仁 市長	T V	笠松町	古田 聖人 町長	T V
高山市	國島 芳明 市長	T V	養老町	大橋 孝 町長	T V
多治見市	古川 雅典 市長	T V	垂井町	早野 博文 町長	T V
関市	尾関 健治 市長	T V	関ヶ原町	西脇 康世 町長	T V
中津川市	青山 節児 市長	T V	神戸町	谷村 成基 町長	T V
美濃市	武藤 鉄弘 市長	T V	輪之内町	木野 隆之 町長	T V
瑞浪市	水野 光二 市長	T V	安八町	堀 正 町長	T V
羽島市	松井 聡 市長	T V	揖斐川町	岡部 栄一 町長	T V
恵那市	小坂 喬峰 市長	T V	大野町	宇佐美 晃三 町長	T V
美濃加茂市	伊藤 誠一 市長	T V	池田町	岡崎 和夫 町長	T V
土岐市	鷺見 直人 副市長	T V	北方町	戸部 哲哉 町長	T V
各務原市	浅野 健司 市長	T V	坂祝町	柴山 佳也 町長	T V
可児市	富田 成輝 市長	T V	富加町	板津 徳次 町長	T V
山県市	林 宏優 市長	T V	川辺町	佐藤 光宏 町長	T V
瑞穂市	森 和之 市長	T V	七宗町	加納 福明 町長	T V
飛騨市	都竹 淳也 市長	T V	八百津町	金子 政則 町長	T V
本巣市	藤原 勉 市長	T V	白川町	横家 敏昭 町長	T V
郡上市	日置 敏明 市長	T V	東白川村	今井 俊郎 村長	T V
下呂市	山内 登 市長	T V	御嵩町	渡邊 公夫 町長	T V
海津市	横川 真澄 市長	T V	白川村	成原 茂 村長	T V

2 各種団体

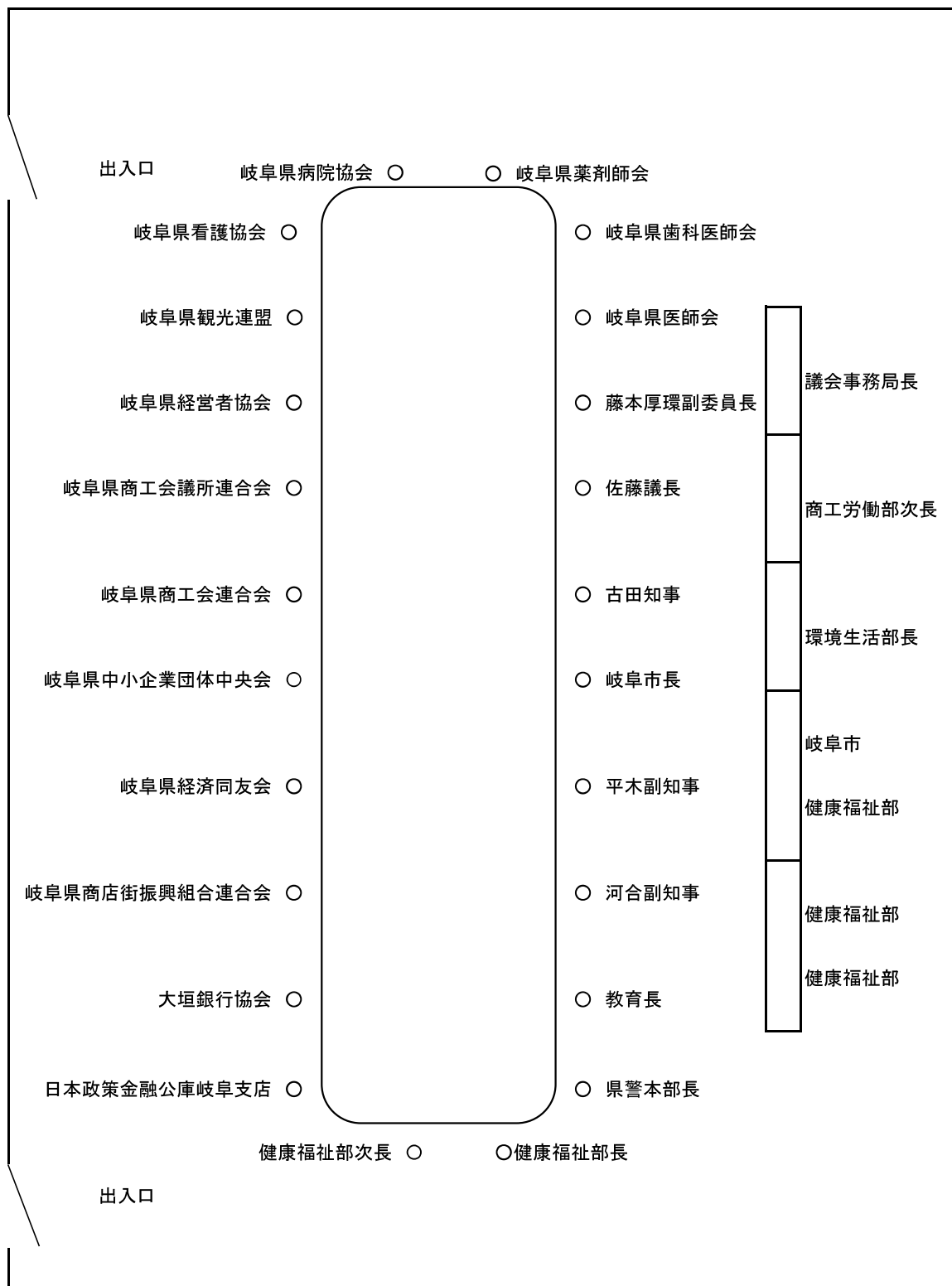
団体名	氏名等	団体名	氏名等
岐阜県医師会	河合 直樹 会長	岐阜県商工会議所連合会	村瀬 幸雄 会長
岐阜県歯科医師会	長瀬 好和 副会長	岐阜県商工会連合会	野原 茂基 専務理事
岐阜県薬剤師会	日比野 靖 会長	岐阜県中小企業団体中央会	今井 哲夫 会長
岐阜県病院協会	富田 栄一 会長	岐阜県経済同友会	鈴木 良春 筆頭代表幹事
岐阜県看護協会	青木 京子 会長	岐阜県商店街振興組合連合会	日比野 豊 理事長
岐阜県観光連盟	山岡 利安 副会長	大垣銀行協会	境 敏幸 会長
岐阜県経営者協会	安藤 正弘 専務理事	日本政策金融公庫 岐阜支店	寺島 昭 農林事業事業統轄

3 県

	氏名		氏名
知事	古田 肇	子ども・女性局長	安江 真美
議長	佐藤 武彦	商工労働部次長	山田 恭
厚生環境委員会副委員長	藤本 恵司	観光国際局長	矢本 哲也
副知事	平木 省	農政部長	長尾 安博
副知事	河合 孝憲	林政部長	高井 峰好
教育長	堀 貴雄	県土整備部長	船坂 徳彦
警察本部長	奥野 省吾	都市建築部長	大野 真義
秘書広報統括監	尾鼻 智	都市公園整備局長	湯澤 将憲
総務部次長	富田 剛	会計管理者	西垣 功朗
清流の国推進部長	丸山 淳	議会事務局長	服部 敬
危機管理部長	渡辺 正信	人事委員会事務局長	村田 嘉子
環境生活部長	内木 禎	監査委員事務局長	三田村 俊史
県民文化局長	市橋 貴仁	労働委員会事務局長	樋口 博久
健康福祉部長	堀 裕行	健康福祉部次長	籠橋 智基

岐阜県新型コロナウイルス感染症
対策協議会(第28回) 対策本部本部員会議(第40回) 配席図

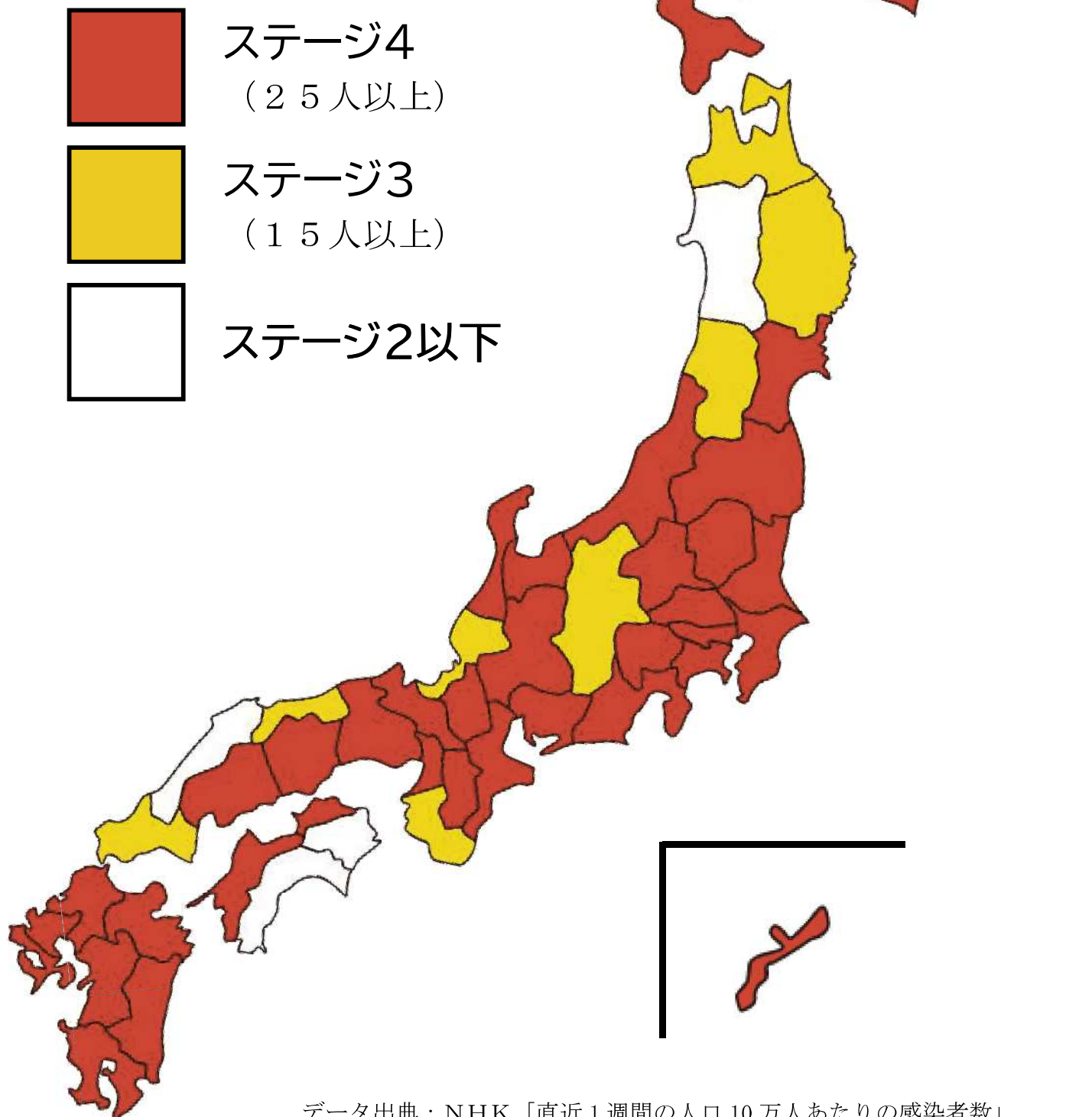
令和3年8月14日(土)15:00～
4階特別会議室



全国の感染状況(ステージ別)

資料1

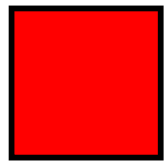
人口10万人あたり1週間の新規感染者数
(8月7日～8月13日)



データ出典：NHK「直近1週間の人口10万人あたりの感染者数」

全国の感染状況(ステージ別)

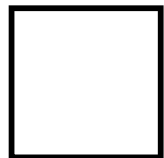
人口10万人あたり1週間の新規感染者数
(7月30日～8月5日)



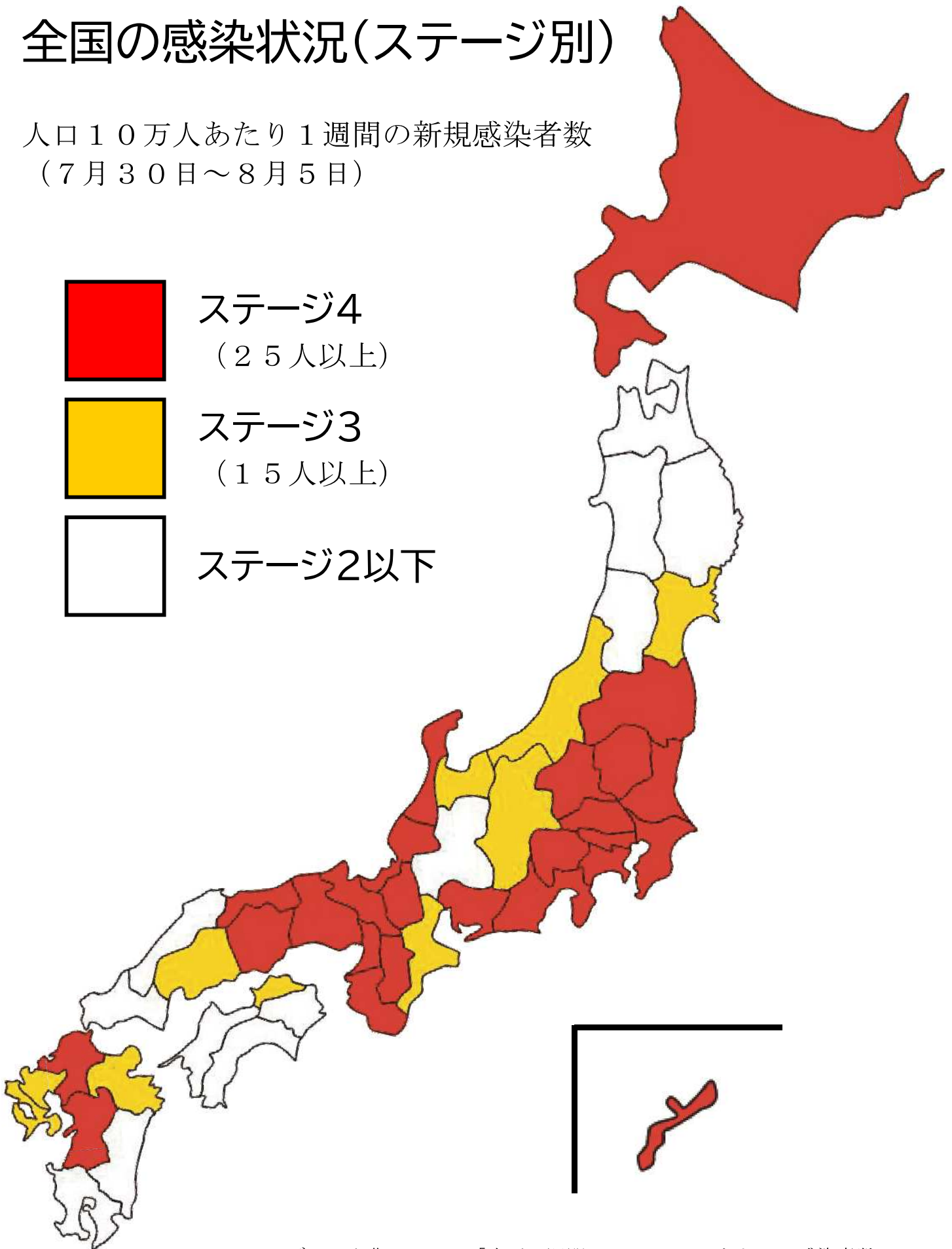
ステージ4
(25人以上)



ステージ3
(15人以上)



ステージ2以下



データ出典：NHK「直近1週間の人口10万人あたりの感染者数」

都道府県別新規感染者数データ

(直近1週間合計、対人口10万人)

緊急事態宣言

まん延防止等重点措置

令和3年8月13日 現在 (NHK調べ)

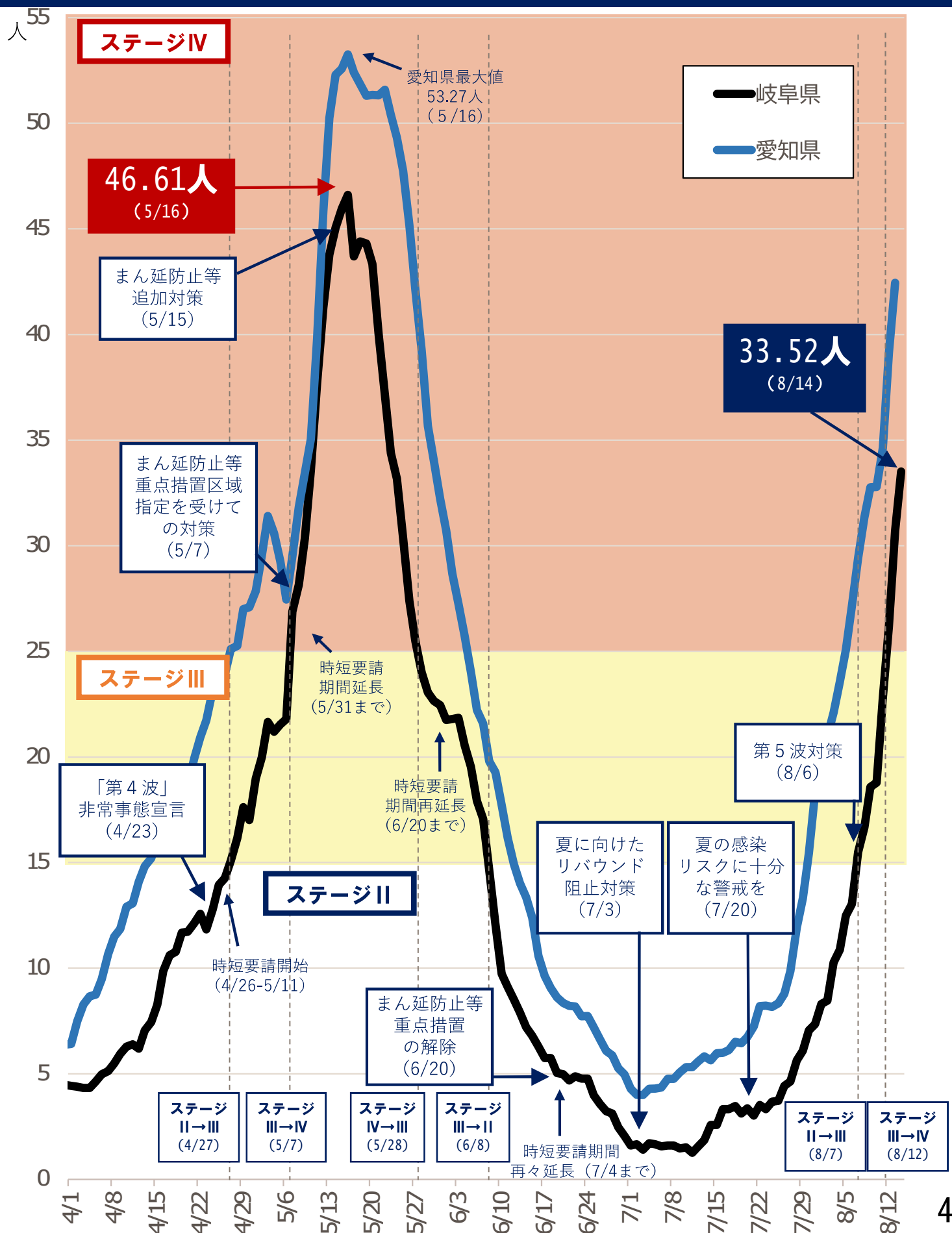
	新規感染者数									人口 総務省人口推計 2019.10.1現在	直近1週間	
	直近 1週間計								順位		対人口10万人 新規感染者数	順位
	8月7日	8月8日	8月9日	8月10日	8月11日	8月12日	8月13日					
北海道	347	308	310	347	351	480	454	2,597	10	5,250,049	49.47	18
青森県	30	22	11	26	77	42	45	253	38	1,246,371	20.30	40
岩手県	39	21	13	26	40	36	54	229	39	1,226,816	18.67	43
宮城県	106	96	59	87	142	220	212	922	17	2,306,365	39.98	25
秋田県	16	14	9	8	13	12	25	97	45	966,490	10.04	46
山形県	37	28	19	15	43	26	37	205	41	1,077,666	19.02	42
福島県	99	81	86	52	111	211	115	755	21	1,845,519	40.91	24
茨城県	256	299	217	223	180	274	335	1,784	13	2,860,307	62.37	10
栃木県	164	98	95	101	166	171	174	969	16	1,933,990	50.10	15
群馬県	182	116	91	102	173	166	252	1,082	14	1,942,456	55.70	13
埼玉県	1,449	1,364	1,160	1,166	1,227	1,528	1,696	9,590	3	7,349,693	130.48	4
千葉県	1,075	988	952	859	955	1,038	1,089	6,956	5	6,259,382	111.13	5
東京都	4,566	4,066	2,884	2,612	4,200	4,989	5,773	29,090	1	13,920,663	208.97	2
神奈川県	1,893	1,860	2,166	1,572	1,561	1,807	2,281	13,140	2	9,198,268	142.85	3
新潟県	82	73	50	80	74	104	129	592	26	2,223,106	26.63	34
富山県	46	47	33	35	46	71	63	341	35	1,043,502	32.68	29
石川県	82	55	71	33	75	98	94	508	27	1,137,649	44.65	22
福井県	32	26	30	21	15	18	19	161	42	767,937	20.97	39
山梨県	79	44	37	38	54	66	73	391	32	810,956	48.21	19
長野県	49	41	42	40	73	84	109	438	28	2,048,790	21.38	38
岐阜県	67	49	56	58	123	122	135	610	25	1,986,587	30.71	30
静岡県	236	206	163	177	288	354	379	1,803	12	3,643,528	49.49	17
愛知県	459	375	256	259	516	703	638	3,206	9	7,552,239	42.45	23
三重県	83	73	62	55	111	131	137	652	24	1,780,882	36.61	27
滋賀県	117	89	71	89	162	164	155	847	19	1,413,943	59.90	11
京都府	271	333	271	107	341	372	450	2,145	11	2,582,957	83.04	8
大阪府	1,123	1,164	995	697	1,490	1,654	1,561	8,684	4	8,809,363	98.58	7
兵庫県	500	449	275	228	608	728	680	3,468	8	5,466,190	63.44	9
奈良県	97	88	58	60	138	114	134	689	23	1,330,123	51.80	14
和歌山県	37	25	20	19	36	31	45	213	40	924,933	23.03	36
鳥取県	18	18	17	6	23	21	23	126	43	555,558	22.68	37
島根県	6	7	8	17	12	18	12	80	46	674,346	11.86	45
岡山県	120	87	87	64	137	217	167	879	18	1,889,586	46.52	20
広島県	117	107	66	58	112	161	196	817	20	2,804,177	29.14	32
山口県	31	24	20	32	47	57	61	272	37	1,358,336	20.02	41
徳島県	9	9	6	8	5	11	19	67	47	727,977	9.20	47
香川県	59	50	26	38	65	60	66	364	33	956,347	38.06	26
愛媛県	55	30	29	33	85	69	91	392	31	1,339,215	29.27	31
高知県	12	9	0	9	20	24	26	100	44	698,029	14.33	44
福岡県	742	701	624	458	736	1,040	951	5,252	6	5,103,679	102.91	6
佐賀県	38	34	24	52	73	89	94	404	30	814,711	49.59	16
長崎県	55	37	38	27	55	74	63	349	34	1,326,524	26.31	35
熊本県	150	82	83	90	181	189	207	982	15	1,747,567	56.19	12
大分県	48	42	38	39	61	83	95	406	29	1,135,434	35.76	28
宮崎県	40	43	32	23	44	61	63	306	36	1,073,301	28.51	33
鹿児島県	71	104	66	82	108	154	158	743	22	1,602,273	46.37	21
沖縄県	548	574	332	332	638	732	721	3,877	7	1,453,168	266.80	1
全国	15,738	14,456	12,058	10,560	15,791	18,874	20,356	107,833		126,166,948	85.47	

※ 埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、大阪府及び沖縄県は、8/31まで緊急事態宣言区域

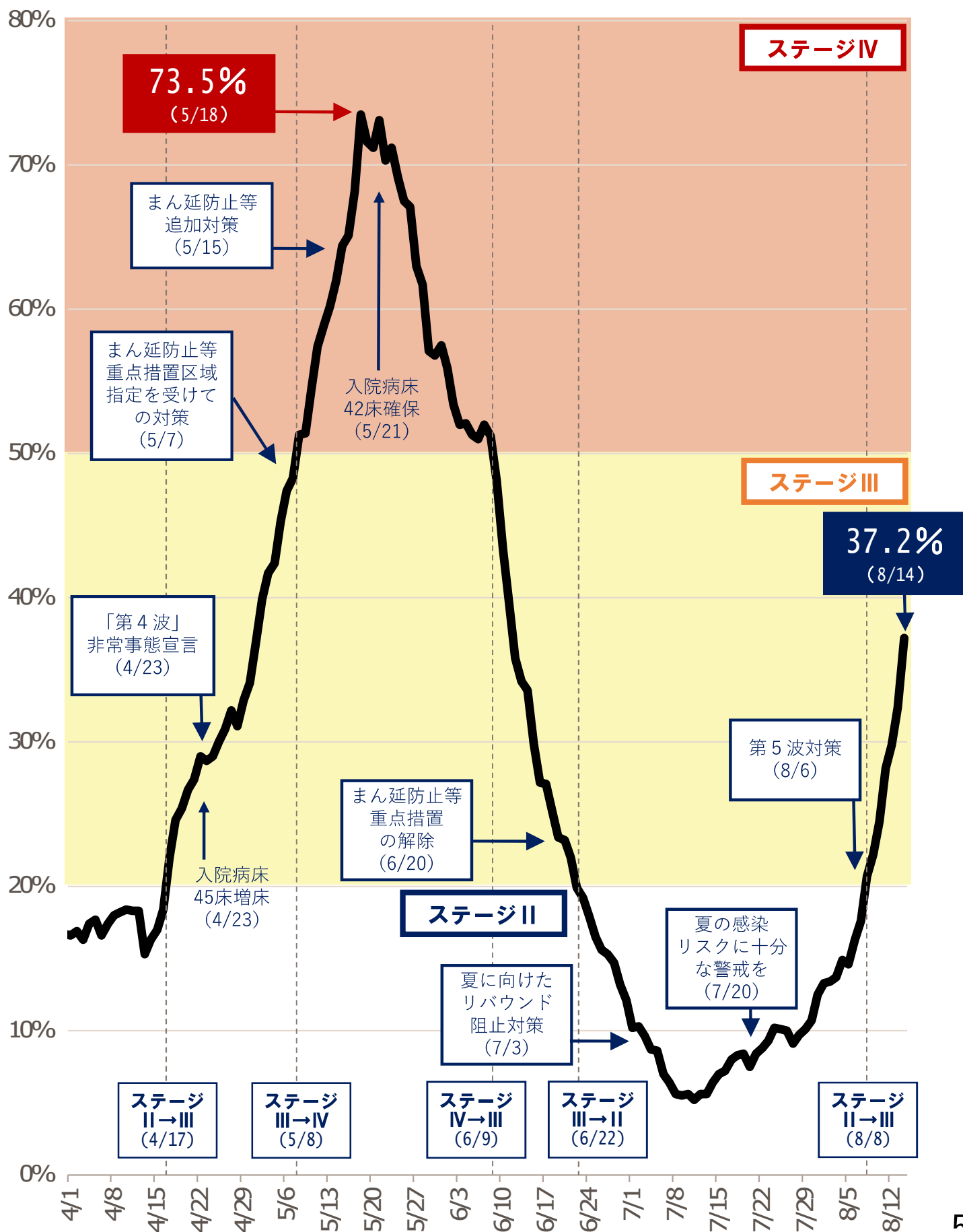
※ 北海道、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、石川県、静岡県、愛知県、滋賀県、京都府、兵庫県、福岡県及び熊本県は、

8/31までまん延防止等重点措置区域

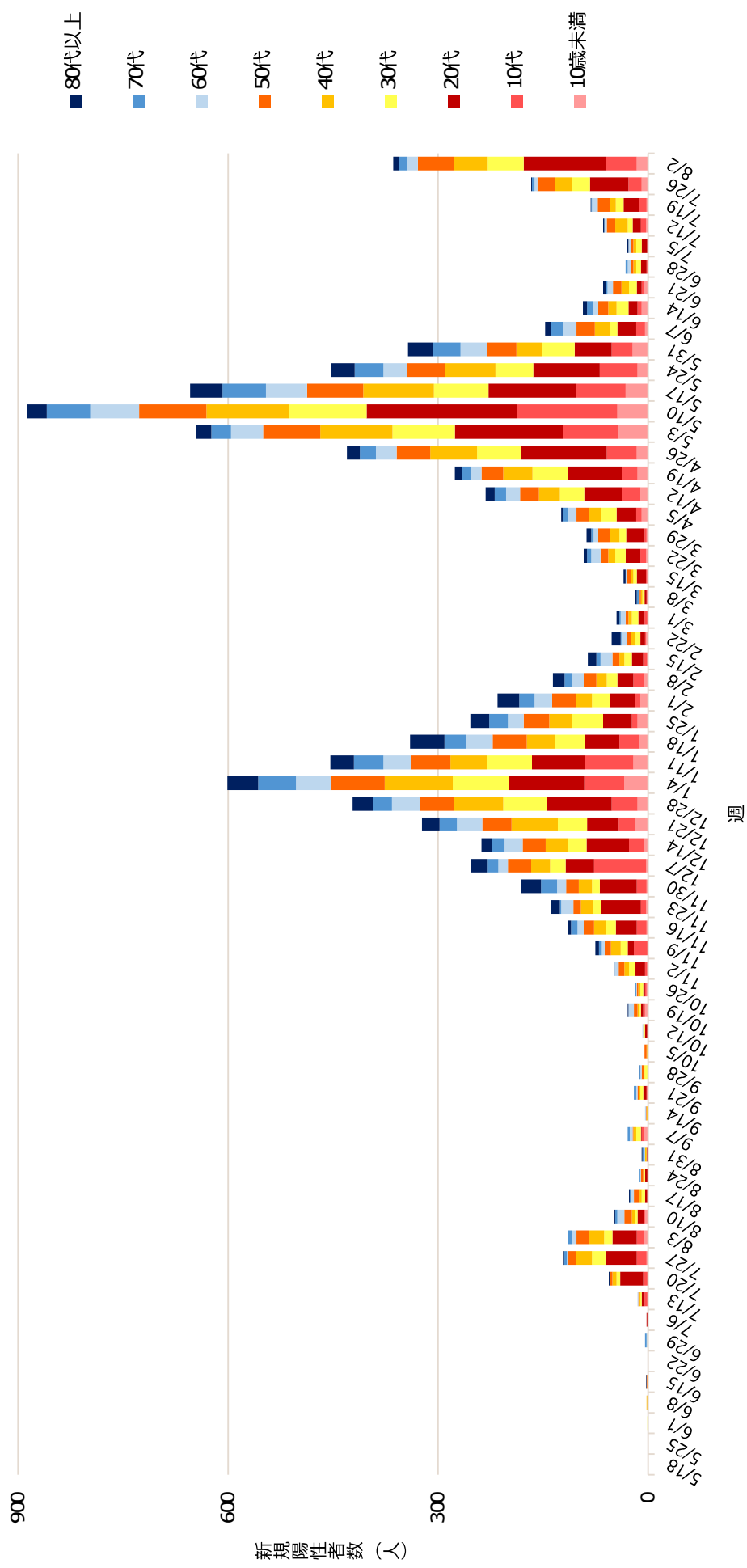
県の10万人あたり新規感染者数 (7日間移動合計)の推移と県の対策



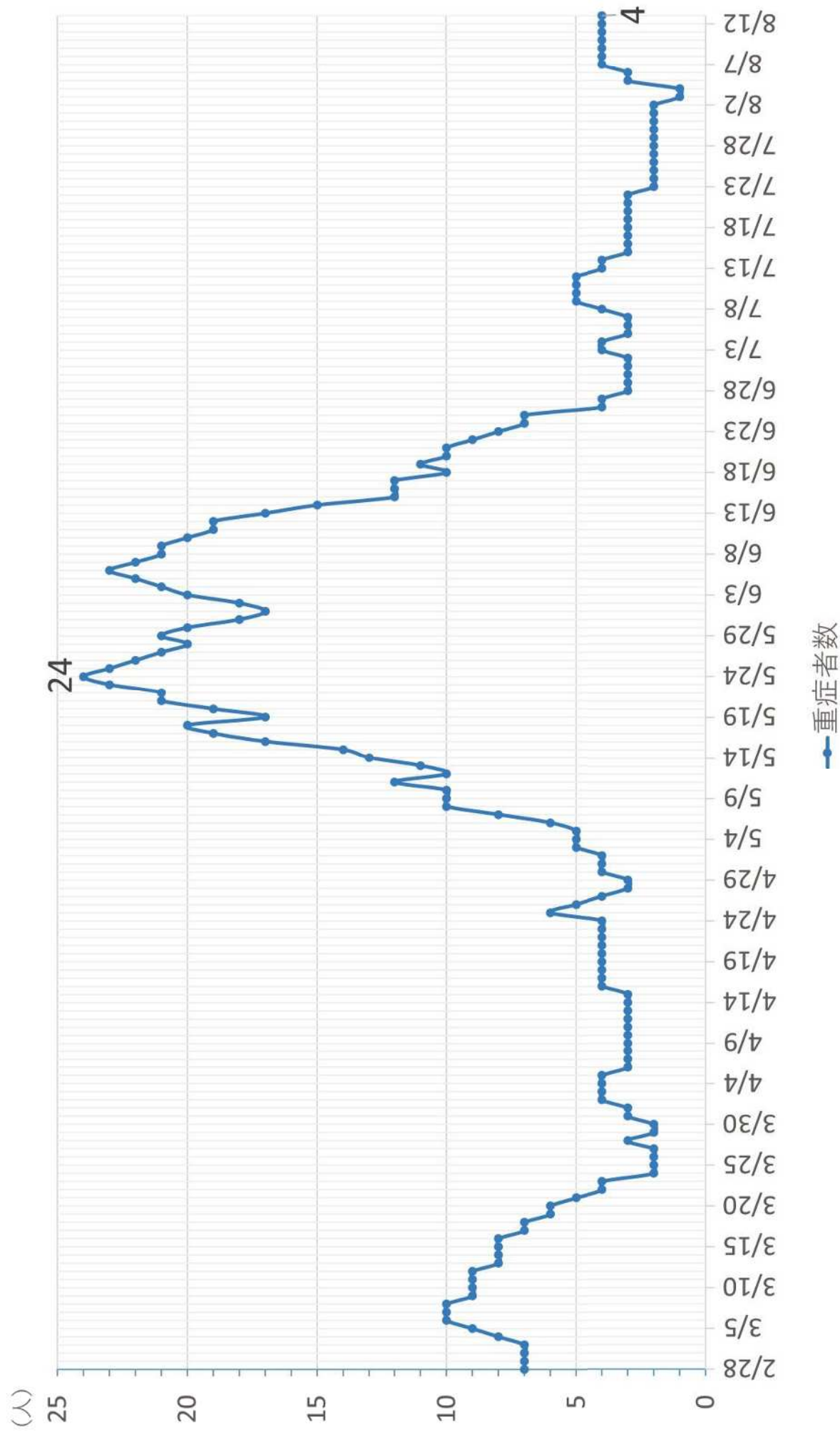
県の病床使用率の推移と対策



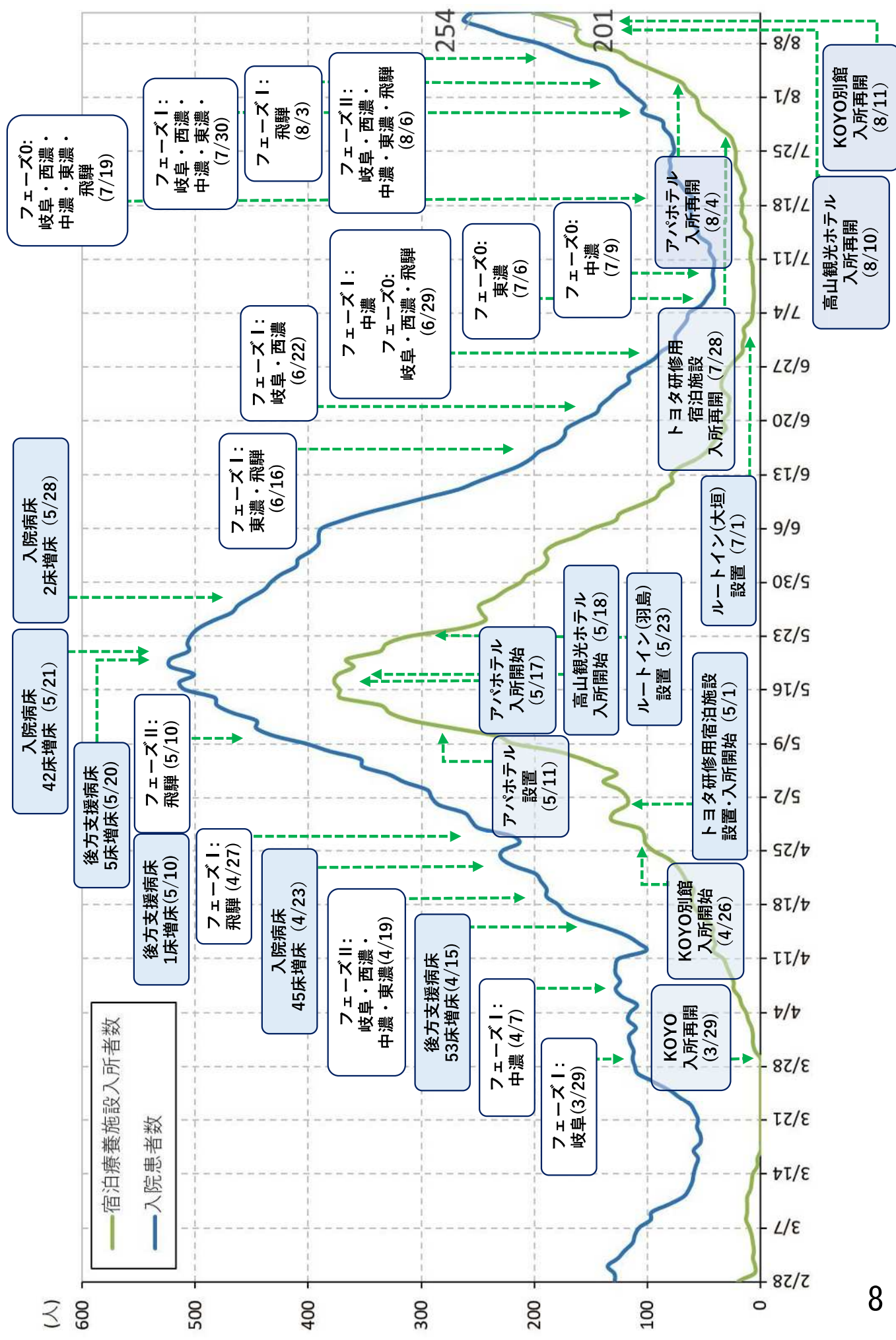
週別・年代別・新規患者数推移



岐阜県の重症者の推移



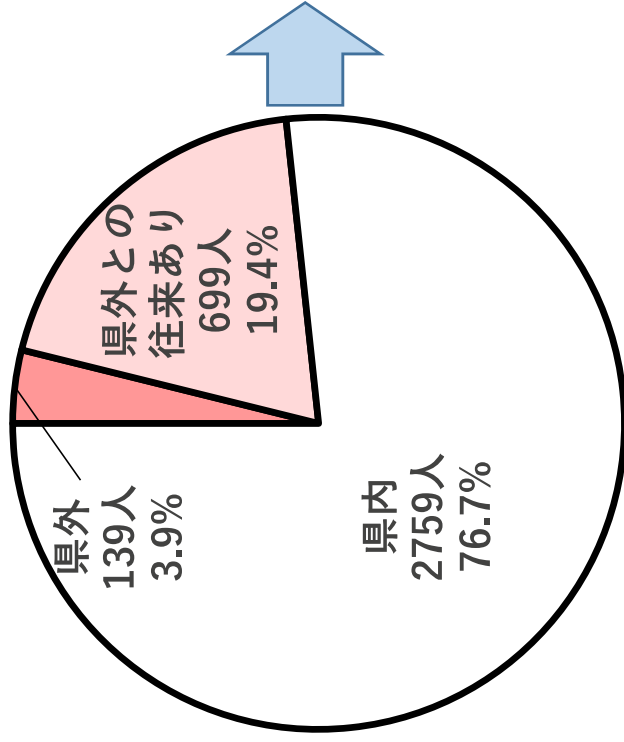
岐阜県の入院病床・宿泊療養施設について



第5波の特徴 ①感染者の行動歴

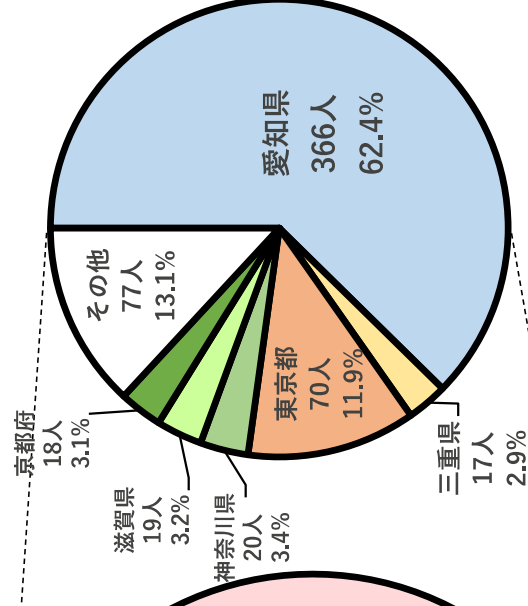
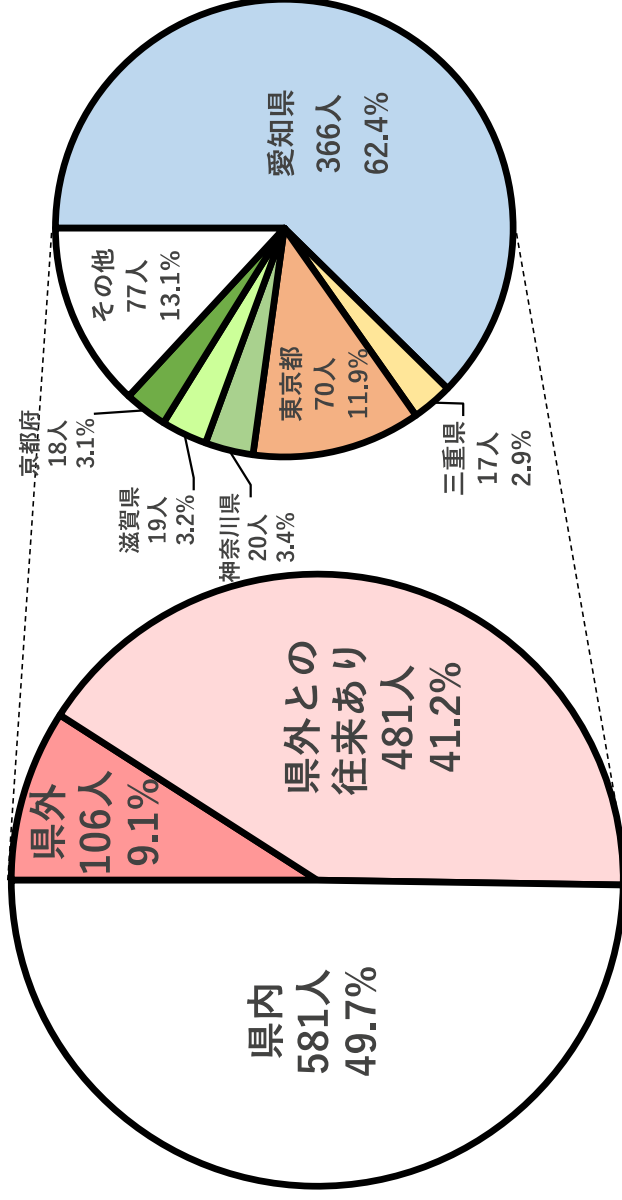
【第4波】

4/26～6/15



【直近】

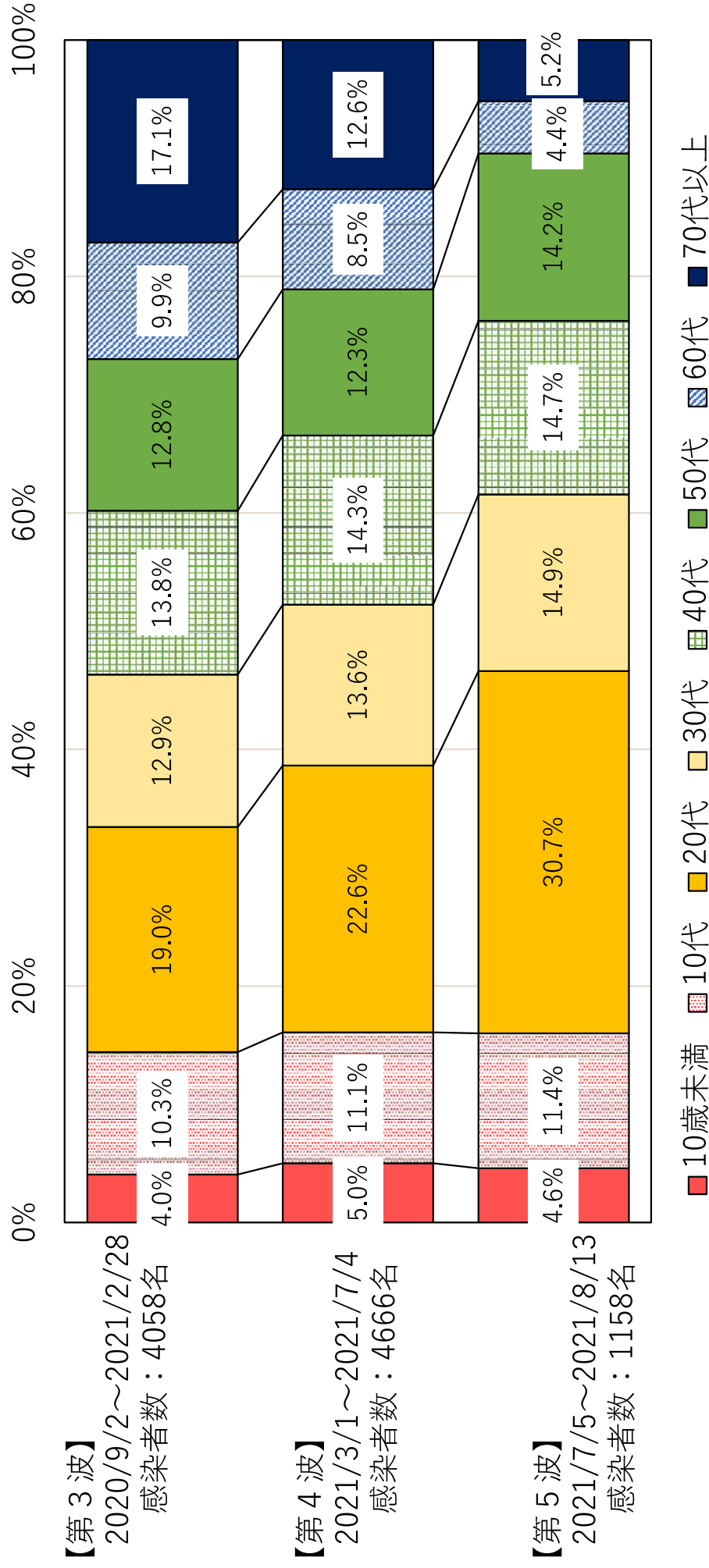
7/1～8/13



- 県外（「県外との往来あり」を含む）の割合は全体の約半分（50.3%）
- 「愛知県」は県外のうち約6割で、そのうち名古屋市は約6割（242人／366人）
- 「三重県」は県外のうち2.9%
- その他の主な訪問先は、北海道（9人）、福井県（9人）、大阪府（9人）

※ 7月1日以降8月13日までの1168例（調査中13例除く）について分析。

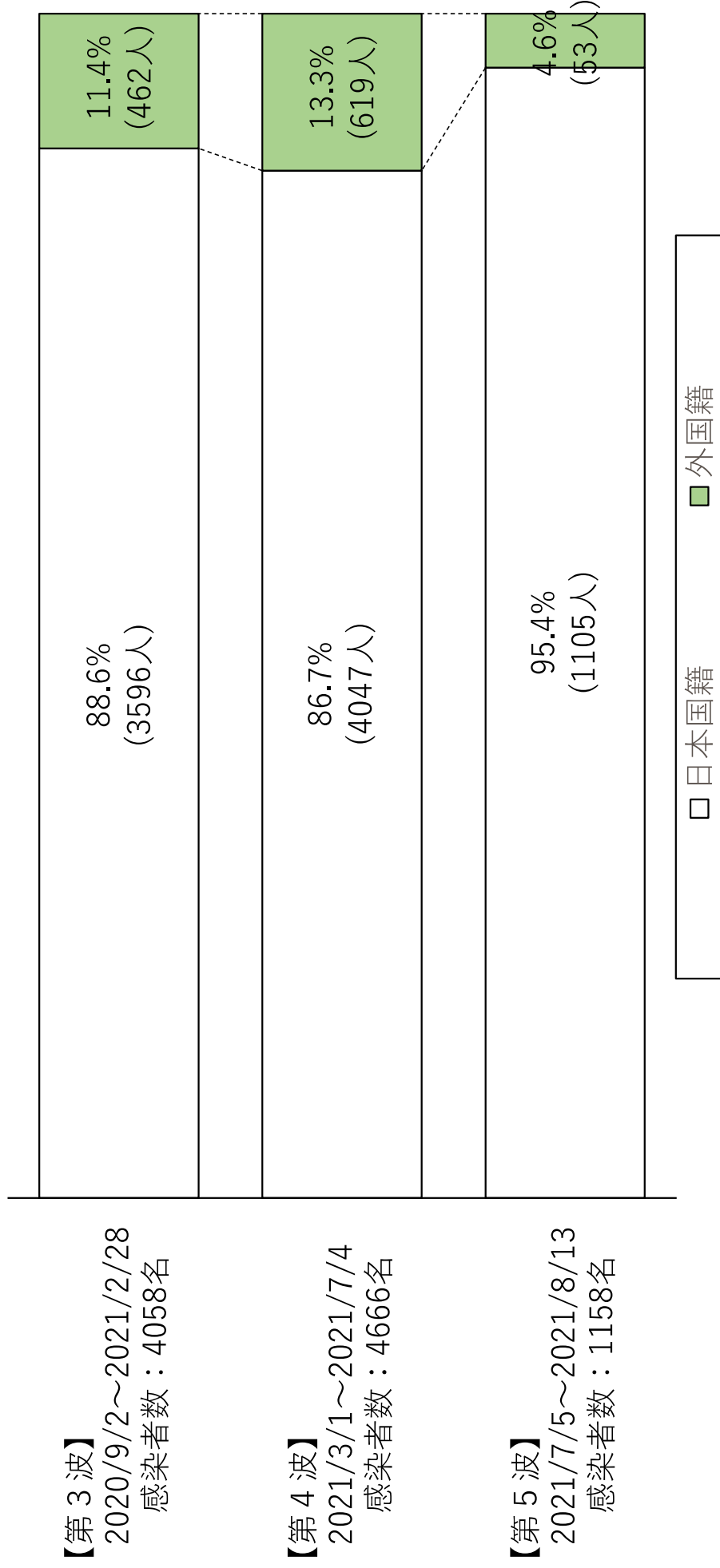
第5波の特徴 ②年代別感染者の割合



○60代、70代以上の感染者の割合は減少

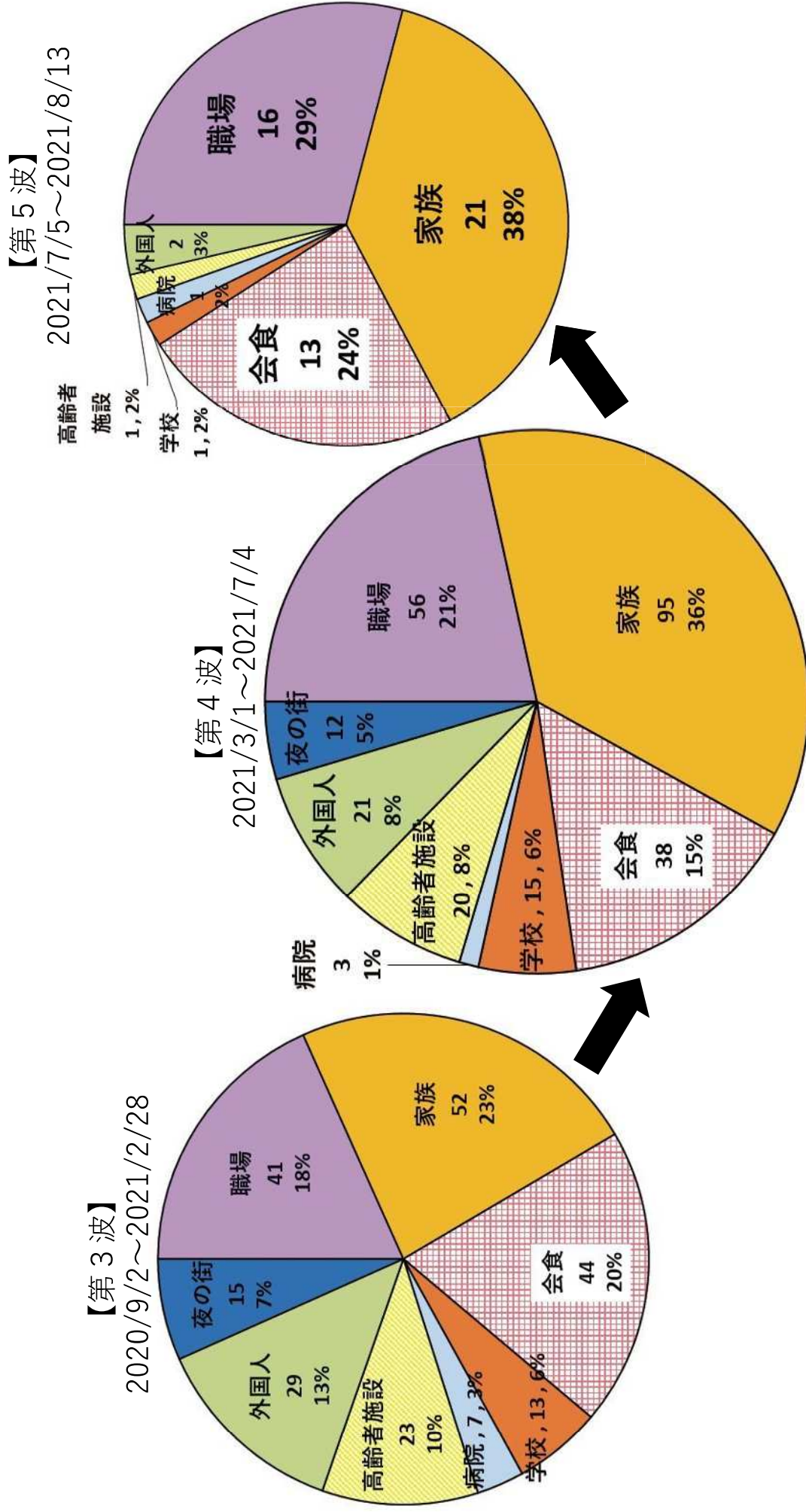
○10代から50代の感染者の割合は増加

第5波の特徴 ③感染者に占める外国籍の割合



※県内で検査を受け陽性となった県外在住の外国籍の感染者を含む。

第5波の特徴 ④クラスターの構成

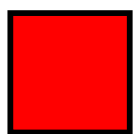
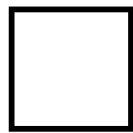


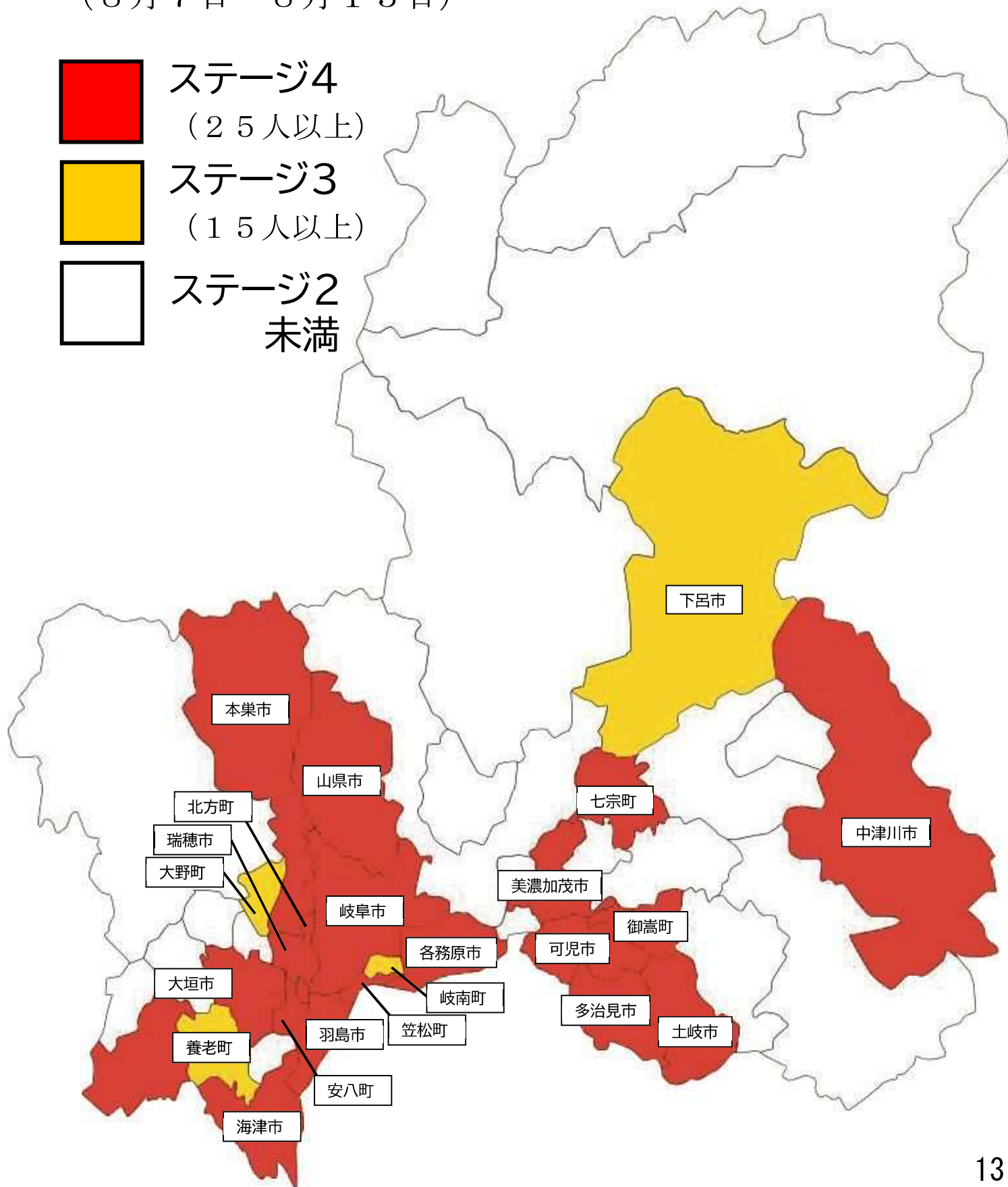
※複数の特徴があるクラスターは重複してカウントしているため、それぞれの分類の合計はクラスターの実数と一致しない。

○職場、家族、会食関係で約9割

岐阜県の感染状況（ステージ別）

人口10万人あたり1週間の新規感染者数
（8月7日～8月13日）

-  ステージ4
（25人以上）
-  ステージ3
（15人以上）
-  ステージ2
未満



直近一週間の市町村別患者数 (8/7~8/13)

	8月7日	8月8日	8月9日	8月10日	8月11日	8月12日	8月13日	合計	
岐阜市	11	8	10	14	36	34	24	137	岐阜市
大垣市	5	3	5	8	11	13	10	55	大垣市
高山市	0	3	0	2	0	0	0	5	高山市
多治見市	11	0	3	11	4	10	9	48	多治見市
関市	1	1	1	0	2	4	2	11	関市
中津川市	2	7	1	0	4	11	9	34	中津川市
美濃市	0	0	0	0	1	1	0	2	美濃市
瑞浪市	1	0	0	0	1	0	3	5	瑞浪市
羽島市	2	2	2	1	6	3	5	21	羽島市
恵那市	2	0	1	0	1	1	2	7	恵那市
美濃加茂市	1	0	1	2	2	1	9	16	美濃加茂市
土岐市	1	4	0	0	6	3	4	18	土岐市
各務原市	7	5	8	4	12	6	10	52	各務原市
可児市	6	2	11	8	9	2	6	44	可児市
山県市	0	2	0	0	3	3	0	8	山県市
瑞穂市	3	1	3	3	6	4	5	25	瑞穂市
飛騨市	0	0	0	0	0	1	0	1	飛騨市
本巣市	3	1	4	3	4	3	5	23	本巣市
郡上市	1	0	0	0	0	0	0	1	郡上市
下呂市	1	0	1	0	1	1	1	5	下呂市
海津市	1	1	0	0	1	2	6	11	海津市

	8月7日	8月8日	8月9日	8月10日	8月11日	8月12日	8月13日	合計	
岐南町	0	1	1	0	0	3	1	6	岐南町
笠松町	1	0	1	0	0	3	3	8	笠松町
養老町	3	1	0	0	0	1	0	5	養老町
垂井町	0	0	1	0	0	0	2	3	垂井町
関ヶ原町	0	0	0	0	0	0	1	1	関ヶ原町
神戸町	0	0	0	0	0	0	0	0	神戸町
輪之内町	0	0	0	0	0	0	0	0	輪之内町
安八町	1	1	0	0	0	2	1	5	安八町
揖斐川町	0	0	1	0	0	0	1	2	揖斐川町
大野町	0	0	1	0	0	1	2	4	大野町
池田町	0	0	0	0	1	0	0	1	池田町
北方町	1	2	0	1	2	1	4	11	北方町
坂祝町	0	0	0	0	0	0	0	0	坂祝町
富加町	0	0	0	0	0	0	0	0	富加町
川辺町	0	1	0	0	0	0	0	1	川辺町
七宗町	0	0	0	0	0	2	1	3	七宗町
八百津町	0	0	0	0	1	0	0	1	八百津町
白川町	0	0	0	0	0	1	0	1	白川町
東白川村	0	0	0	0	0	0	0	0	東白川村
御嵩町	0	0	0	0	2	0	3	5	御嵩町
白川村	0	0	0	0	0	0	0	0	白川村
県外その他	2	3	0	1	7	5	6	24	県外その他
合計	67	49	56	58	123	122	135	610	合計
発生市町村数	21	18	18	11	22	26	26	36	発生市町村数

デルタ株による感染が急拡大中

現在、全国的なトレンドと同様、本県においても、新規感染者が急増し連日100人を超える水準に至りました。これに伴い、わずか6日間でステージⅡからⅣの「感染爆発」状態となり、病床使用率もステージⅡからⅢの「感染急増」状態となりました。

感染拡大の主な要因としては、「人流の増加」、特に夏休みに入って、若者をはじめとして「帰省、旅行、出張」といった、県をまたいだ行動が挙げられます。

このまま感染爆発状態に歯止めがかからない場合、8月中にも医療体制が崩壊し、救急搬送が滞るなど「救える命が救えない」災害級の事態に陥ります。

今こそ、自らの、そしてご家族の「いのち」を守るという、強い行動規制、いわゆるセルフ・ロックダウンが必要です。

今一度、基本的な感染防止対策の継続に加え、人との接触機会を極力減らす取り組みを、「オール岐阜」一丸となって徹底しましょう。

県民の皆様、事業者の皆様と共に

基本的な感染防止対策（マスク着用、手指衛生、密回避、体調管理）を継続した上で、以下の取組みを徹底し、「人流を半減」させましょう。

1 帰省

- ・ 県境をまたぐ帰省の中止又は延期を呼びかけましょう。
また、少しでも体調がおかしいと感じたら帰省を中止しましょう。

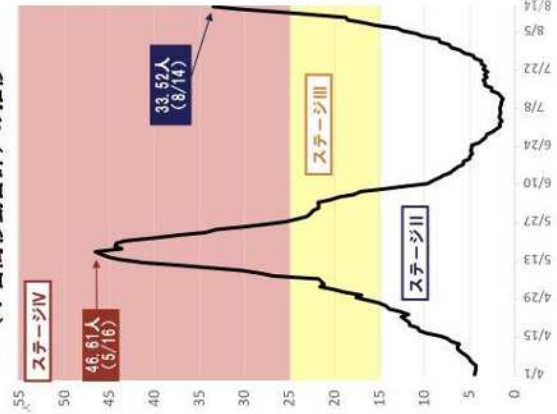
2 出張

- ・ 出張の機会そのものを減少するとともに、県境をまたぐ出張は中止又は延期しましょう。やむを得ず出張する場合は、日帰りを基本とし、人混み・会食を避けましょう。

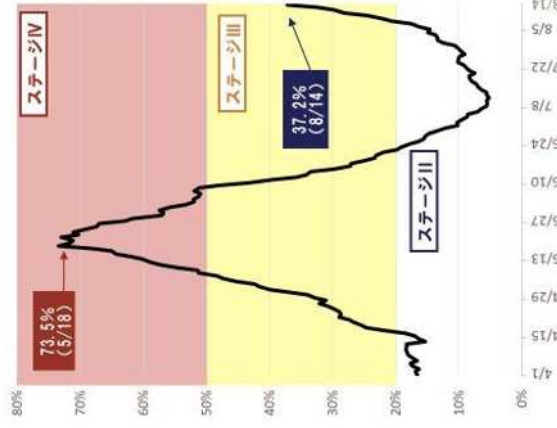
3 旅行・レジャー・会食

- ・ 県境をまたぐ旅行・レジャーは、中止又は延期しましょう。
また、親戚同士や同窓会など普段会わない人との会食はもちろん、職場の同僚との職場外での会食は中止しましょう。

県の10万人あたり新規感染者数
（7日間移動合計）の推移



県の病床使用率の推移



令和3年8月14日

岐阜県知事

古田肇

岐阜市長

柴橋正直

大垣市長

石田仁

高山市長

國島芳明

多治見市長

古川雅典

関市長

尾関健治

中津川市長

青山節児

美濃市長

武藤鉄弘

瑞浪市長

水野光二

羽島市長

松井聡

惠那市長

小坂喬峰

美濃加茂市長

伊藤誠一

土岐市長

加藤淳司

各務原市長

浅野健司

可児市長

富日成輝

山県市長

林宏隆

瑞穂市長

森和之

飛騨市長

郁川淳也

本巣市長

藤原勉

郡上市市長

日置敏明

下呂市長

山内登

海津市長

横川真澄

岐阜町長

小島英雄

笠松町長

古田聖人

養老町長

大橋孝文

垂井町長

早野博文

関ヶ原町長

西脇康世

神戸町長

谷村成基

輪之内町長

木崎隆之

安八町長

堀正

揖斐川町長

岡部栄一

大野町長

市川美晃三

池田町長

岡崎祐秋

北方町長

市部哲哉

坂祝町長

桑心隆也

富加町長

被津徳次

川辺町長

佐藤光宏

七宗町長

加納福朗

八百津町長

金子政則

白川町長

横家敏昭

東白川村長

今川俊郎

御嵩町長

渡邊公夫

白川村長

武原春

岐阜県議会議長

佐藤武夫

岐阜県議会厚生環境委員会委員長

高殿尚

岐阜県医師会会長

河合直樹

岐阜県歯科医師会会長

阿部義和

岐阜県薬剤師会会長

比野靖一

岐阜県病院協会会長

高田栄一

岐阜県看護協会会長

青木修一

岐阜県観光連盟会長

山口嘉彦

岐阜県経営者協会会長

村瀬幸雄

岐阜県商工会議所連合会会長

岡山金平

岐阜県商工会連合会会長

今井哲夫

岐阜県中小企業団体中央会会長

鈴木良春

岐阜県経済同友会 筆頭代表幹事

日比野豊

岐阜県商店街振興組合連合会 理事長

村瀬幸雄

岐阜銀行協会会長

境敏幸

大垣銀行協会会長

梅沢光一

日本政策金融公庫 岐阜支店長

一ノ瀬浩道

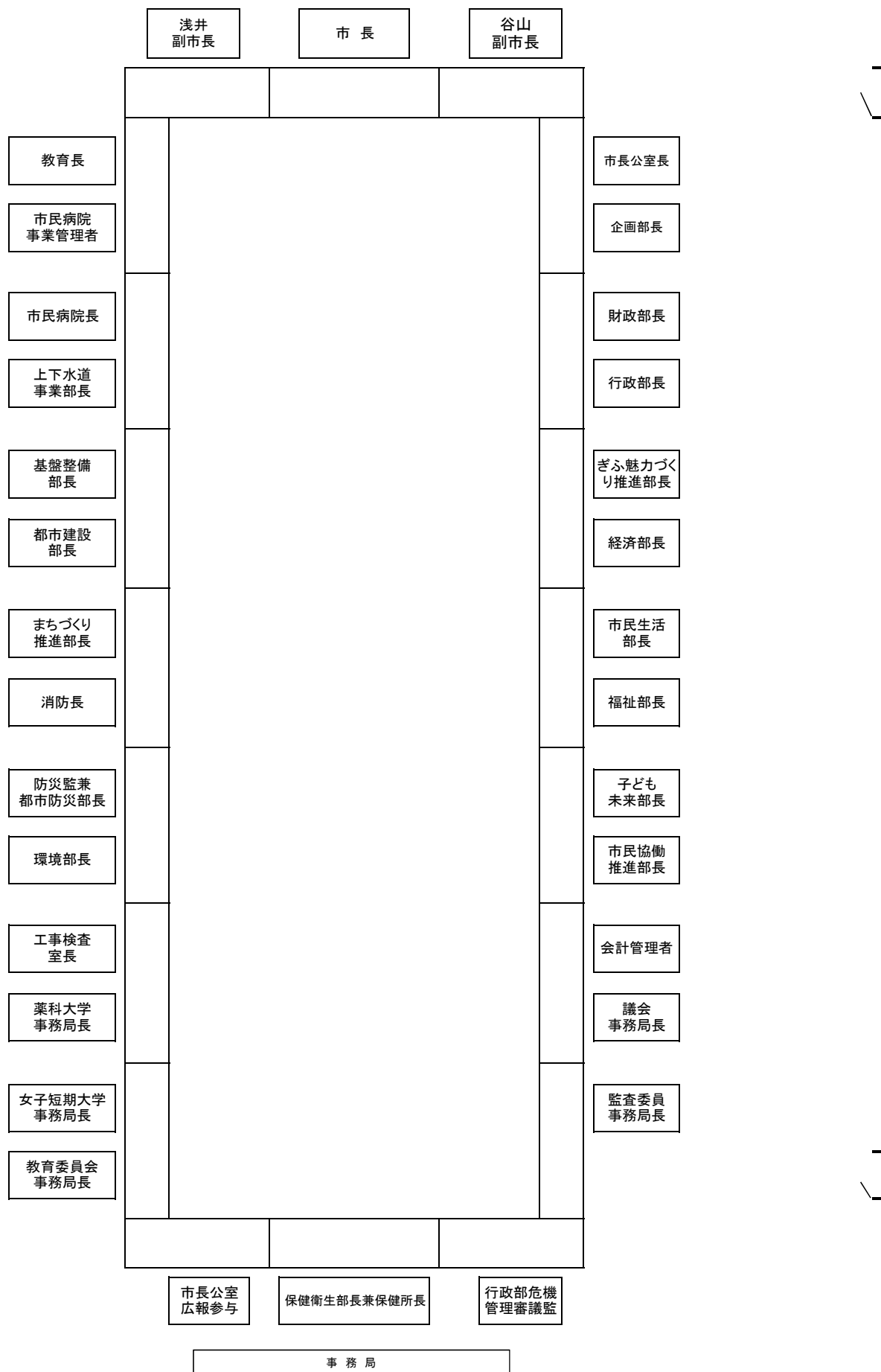
商工組合中央金庫 岐阜支店長

畑俊一

岐阜労働局長

岐阜市新型コロナウイルス感染症対策本部会議席表

2021年8月14日



新型コロナウイルス感染症

オール岐阜「生命の防衛」宣言 ～生命（いのち）を守る強い行動自制を～

現在、全国的なトレンドと同様、岐阜県においても感染者が連日100人を超え急増し、ステージⅣの「感染爆発」の状態となり、病床使用率もステージⅡからⅢの「感染急増」の状態となりました。

本市においても、新規感染者数が急増しており、直近（8月14日時点）の人口10万人あたりの新規感染者数（7日間移動合計）で41.71人と、ステージⅣの「感染爆発」の状態にあり、1週間前の2倍以上となっています。（8月7日時点では、18.16人）

このままの状態が続けば、8月中にも医療体制が崩壊し、救急搬送が滞るなど「救える命が救えない」災害級の事態に陥る危機的な状況にあります。

一人ひとりが自らの、そしてご家族の「生命（いのち）を守る」という、強い行動自制、いわゆるセルフ・ロックダウンが必要です。

感染拡大を何としても食い止めるため、基本的な感染防止対策の継続に加えて、人との接触を極力減らす取組によって、人流を半減させましょう。

令和3年8月14日 岐阜市長 柴橋 正直

市民の皆様・事業者の皆様へ

基本的な感染防止対策（マスクの着用、手指衛生、密回避、体調管理）を継続したうえで、以下の取組を徹底し、「人流を半減」させましょう。

● ご家族の帰省に関して

- ・ 県境をまたぐ帰省の中止又は延期を呼びかけましょう。
- ・ 少しでも体調がおかしいと感じた方の帰省は、家族ぐるみで止めてください。

● 出張に関して

- ・ 出張の機会そのものを減少するとともに、県境をまたぐ出張は、中止又は延期しましょう。
- ・ やむを得ず出張される場合は、日帰りを基本とし、人混み・会食を避けましょう。

● 旅行・レジャー・会食に関して

- ・ 県境をまたぐ旅行・レジャーは、中止又は延期しましょう。
- ・ 親戚同士や同窓会など普段会わない人との会食はもちろん、職場の同僚との職場外での会食は中止しましょう。